



平成30年度

## 第5回 みみらんどセミナー 報告書

テーマ「きこえにくい私の体験談と就労について」

☆ 実施日時☆ 平成30年11月20日（火）13:15~14:30

☆ 講師☆ 子育てサークル「もいもい」 中村 祥子 先生



☆ 内容☆

### <幼少期>

#### 難聴幼児通園センターに通う毎日

- 幼稚園から大学院まで、地域の学校で育つ。
- 親は、将来一人で収入を得て生活できるようになってほしいと考えていた。  
→そのためには大学へ進学!  
小4から塾通いをしていた。

2歳の時に「中等度難聴」と分かった。  
現在は「重度難聴」。

### <中学>

#### 友達関係や音への気付きと疑問

- ドラマの話は新聞で推測、音楽の話は適当に合わせていた。
- 作文や書道での受賞が自分の存在価値。
- 近くでも「あ」なのか「さ」なのか、音が混ざって聞こえなかった。

### <高校>

#### 手話との出会い! 自分の聞こえて?

- 私は「聞こえて」いる!  
国民は…国会における…我らの…決意し…
- でも実は、「聞こえて」いなかった!  
それに気づいたのは大学入学直前。
- 自分の聴覚障がいについて学びたい!

### <大学>

#### 楽しかった大学生活!!

- 手話で議論する先輩や後輩。
- 聾学校育ちの学生は、思い出がたくさん。  
その反面、普通学校育ちの私は少ない。
- 母の結婚相手のリクエストは、「聞こえない人」。お互い分かり合ってほしい。

### <家庭>

#### できれば「手話」のある家庭に

- 発音が明瞭なのが私の価値?!
- 「インスタントコーヒーの作り方は教えていない。  
でも読めば分かるように教えた」上農正剛先生より
- 一日のスケジュールを朝食時に話す。
- 目の前からいなくなる理由を話す。
- 聞こえないことを堂々と親が示す。  
⇒本人が肯定的に障がいを認識

### <就労>

#### 聞こえない人の就労とは?

- 面接で人事部と交渉した。できること、できないことをはっきりと!
- 新聞社に入社後は、新聞作成の仕事に携わっている。